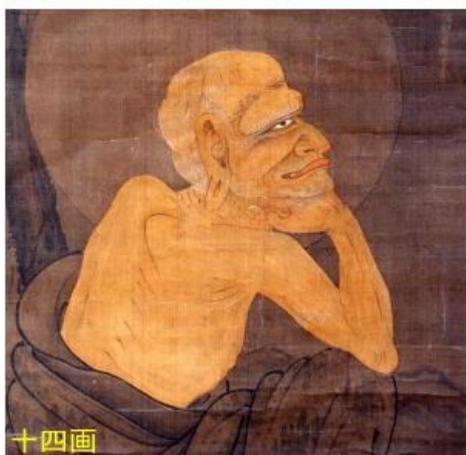
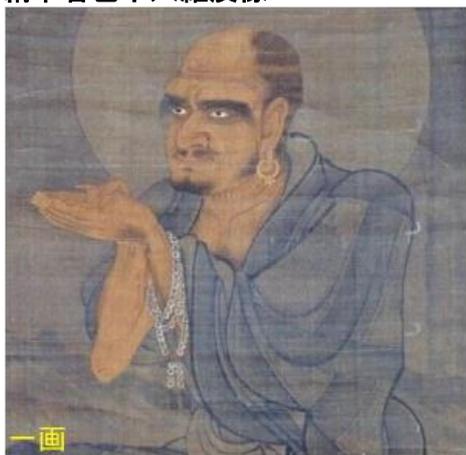


絹本着色十六羅漢像



| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 県指定重要文化財(絵画) |
| 読みかた | けんぽんちゃくしよくじゅうろくらかんぞう |
| 所在地 | 備前市伊部 長法寺 |
| 指定年月日 | 平成13年3月23日 |
| 解説 | 各幅に一尊者ずつ描き、16幅からなる。各縦131.4cm、横53.8cm。中国宋時代の羅漢図を模写したもので、表現もバラエティーに富み、奇異な表現において独自の存在価値をもつ作品である。制作年代は14世紀を下らないものと思われる。寺伝によると、京都泉涌寺の僧が中国から持ち帰ったもので、後小松天皇(1377～1433)の病氣平癒を祈願した功により、長法寺に寄付されたという。 |
| アクセス方法 | JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ |
| 公開状況 | 岡山県立博物館にて展示 [問い合わせ先]086-272-1149 |
| 設備 | 駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。  |
| 備考 | |